

私もひとこと

子育てについて

しと 戸直美さん (水沢)



私は、東北各地を転々と子育てをしてきました。孤独と不安を抱えていたことも思い出します。体と心の変化、慣れない子育て、将来への不安、笑ってしまうくらい悩んでいたと思います。産後ケアバランスプログラムエクササイズと話せる友達に出会ってからは、体と心の状態が整い、前向きになりました。

今、奥州市は産科が少ない状況です。出産場所が減ることは、ますます人口減に拍車をかけ、里帰り出産もできなくなりそうです。それでは、何をもって子

どもを産み育てやすい地域にするかです。産科医を増やし、ママのサポートを充実させた公的支援と、支援する側、される側というより、普段の生活の延長にその場所があり、ママの声が届く産前産後ケアからの地域づくりが必要だと思えます。

核家族化が進む現代でママの悩みは深刻です。ママが抱える問題は地域みんなの問題です。ママの笑顔は子どもにも街にも活気を与えます。ママのコミュニケーションツールのある街づくりを願います。

私もひとこと

地域のみらいを考えて

きく ち ゆき 直さん (衣川)



私は、奥州市協働のまちづくりアカデミー第一期生として教育を受け、現在、みらい工房衣川(代表吉田裕悦 会員16名)で、福祉を核としたまちづくりをテーマに活動を行っています。東北福祉大学の都築光一教授をはじめ、社会福祉協議会、地区振興会等のご支援ご協力を得て、事業を通して経験しながら、共に勉強をさせて頂いております。

少子高齢化や人口減少、限界集落を実際に肌身で感じはじめて来ていますし、それらが今後加速して行く

ことが予測されています。私の住む地域では、集落の衰退はもちろん維持も難しくなるのではと心配しています。

一方、少子高齢化が進むなか、介護保険法改正に伴い、行政区の役割が非常に大きく重要であるとともに、これからの地域を担っていく次世代の担い手の掘り起こしや、人材育成が更に大切になると思います。また、地域の垣根を越え、協働で活動していける可能性を探ることも必要ではと考えます。

次の議会定例会は
6月1日(金)の開会予定です
皆様の傍聴をお待ちしております。

議会開会中は、どなたでも議会を傍聴することができます。
2月定例会の傍聴者数 計21人(延べ人数)

表紙
紹介

奥州食の黄金文化祭 2018 のおやつフェスティバルで開催された体験教室。

議会広報委員会
新任期より議会広報編集委員会から名称を改めました。より一層の情報発信の充実に努めます。



- | | | | |
|------|-------|-------|--|
| 委員長 | 廣野 富男 | | |
| 副委員長 | 飯坂 一也 | | |
| 委員 | 千葉 和彦 | 高橋 晋浩 | |
| | 小野寺 満 | 高橋 千 | |
| | 明神キヨ子 | | |
| | 菅原 圭子 | | |

定例会インターネット中継がご家庭でも

インターネットが使用できる環境の方は、ご自宅でもライブ中継・録画中継をご覧になれます。

奥州市ホームページ
<http://www.city.oshu.iwate.jp/hm/gikai/>

奥州市議会

奥州市議会公式Facebook(フェイスブック)
URL <https://www.facebook.com/oshu.gikai/>

奥州市議会公式Twitter(ツイッター)
URL <https://twitter.com/oshu.gikai>

マチイロ 行政情報発信アプリで市議会だよりを発信

あ・と・が・き
大雪を忘れるほどの陽気と祭りばやしの音色に、心踊る季節となりましたが、去る3月8日・9日の豪雨・融雪災害で被災された市民の皆様には心からお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧を願っております。

市議会議員改選後に開催された初の臨時会において新たに議会広報委員9名が選任されました。引き続き、分かりやすく親しまれる議会だよりの編集とFMラジオ等を活用した議会情報を電波にのせてお届けしてまいりますので、みなさんのご意見をお寄せください。

(廣野 富男)